

財団法人8020推進財団 平成20年度 歯科保健活動事業助成交付事業 報告書	
1. 事業名：	障害者歯科から学ぶ歯科保健、医療 福祉の地域環境づくり ーヘルスプロモーション理念に基づく8020運動の展開ー 愛南町歯周病検診事業
2. 申請者名：	社団法人愛媛県歯科医師会
3. 実施組織：	愛媛県歯科医師会南宇和支部 南宇和郡愛南町役場保健福祉課
4. 事業の概要：	<p>障害があってもなくても生涯自分の歯で暮らせる街づくりをテーマとし、住民主体による8020の実現をめざす。4つのビジョン（情報提供、健診、地域資源との連携、歯科医師のスキルアップ）に基づき、住民の声を活かし反映した8020推進運動を歯周疾患に着目し展開した。</p>
5. 事業の内容：	<p>4つのビジョンの一つ目として、住民の歯周疾患に関する知識の啓発と歯周疾患に関する疑問を調査するために、住民を対象にして3回の「歯周病懇談会」を実施し情報提供を行った。具体的には歯科医師による歯周疾患に関する講義、質疑応答およびアンケートを行い、住民の歯周疾患に対する知識と疑問点を聴取した。後日、講義を受けた方、受けなかった方も対象として歯周疾患検診を南宇和歯科医師会により実施し、ビジョンの二つ目とした。</p> <p>3回の「歯周病懇談会」および歯周疾患検診実施に先立ち、住民に周知するために愛南町広報誌に歯周疾患についてのコラム（3回シリーズ）を掲載してもらい、その広報に歯周病懇談会の開催のチラシを同封した。またそのチラシは各歯科医師会会員医院にて患者に配布した。さらに歯周病懇談会の開催のポスターを複製し、各歯科医院に掲示した。加えて町の行政防災無線を使用し、放送により日時場所について周知した。</p> <p>南宇和歯科医師会は平成17年から愛南町歯周病検診に協力しており、今回の事業においても十分な協力と連携を得ることができ、ビジョンの三つ目を達成できたと思われる。</p> <p>最後に歯科医師のスキルアップであるが、今回の懇談会・検診を開催するにあたり、支部の歯科医師自身が関連学会に参加して必要な知識情報を習得し、さらにそれを支部内で共有できるよう事前準備会を数度行った。前述にもあるように、当支部は平成17年から健康増進法に基づく愛南町歯周病検診に参加しており、検診方法・手技は習得してあったが、再度の確認を検査者内で行った。</p>
6. 実施後の評価（今後の課題）：	<p>8020達成を目標に地域住民の歯周病に対する意識の向上を図るために今回の事業を展開したが、問題になったのは受講率・受診率が低いことであった。歯周病懇談会には50人、歯周病検診には31人の住民参加を頂いたが、さらに多くの住民に参加していただくために、事業の実施方法や周知方法を考慮する必要がある。8020達成には若年層の参加が望ましいが、実際は50代以降の方が多くなっていた。</p> <p>懇談会アンケートの感想として「会を開催して来てもらうという方法では来る人が限られてしまうので、開催する側が地域（民生委員会、老人クラブ、婦人会、各地のサロン）など、既存団体に働きかけて開催する方がよい」という貴重なご意見を頂いた。これを参考に今後の展開としては地域住民の集まりに出向いての懇談会等開催を目指し、歯周病への関心を高めていただくようにしたい。</p> <p>また、事業を実施する歯科医師側の課題は、住民からの要望に常に応えられるよう、歯科医師会会員のどの歯科医師でも、講演、検診を同じようなレベルで行うことができるようにすることである。そのためには会員間で講演に関する研修を行い、検診のキャリブレーションを行っていく必要があると考えられる。</p> <p>今後の事業展開であるが、愛南町の歯周病検診をベースとして歯科医師が積極的に関わり、地域住民に密着した身近な歯周病懇談会の開催を、場所時間を変えながらさまざまな年齢層の方が参加しやすいよう考慮して行うよう計画立てて実行することである。それにより歯周病への関心が高まり、1本でも多くの歯で歳をとってもしっかり噛める住民が増えるような地域作りを目標とする。</p>